

令和4年度第4回 名取市地域公共交通活性化推進協議会 会議録

1.日 時

令和5年2月13日(月) 15:00～15:45

2.場 所

名取市民体育館 会議室1

3.出席者

別添名簿のとおり

4.傍聴者

1名

5.議事内容

1) 名取市地域公共交通計画（最終案）について 【資料1～4・計画書冊子】

→議員協議会・パブリックコメント等を経て最終的に取りまとめた計画書（最終案）について、協議会に諮るべく開催したもの。

6.質疑応対

議事3.（1） 名取市地域公共交通計画（最終案）について

（田端委員）

資料4 N012パブリックコメントの回答において、市民の興味・関心を高めるための取組について記載されている。パブリックコメントの実施について広報誌に掲載し、各公民館でも実施すると周知されていたが、意見を求める具体内容が「なとりん号に関する意見」と受け止められかねない表現であった。

令和5年度に実証実験、令和6年度から本格運行を行うため、新しい計画を策定し、進めていくための意見公募という案内文になっていれば、より多くの市民の参画が期待できたのではないか。広報誌の案内文も適切ではなかったと思われる。

今後は、意見を求める内容についてポイントを絞って広報・案内を行って頂きたい。

（事務局）

各公民館で実施するのは、なとりん号の運行体系見直しに関する住民説明会であり、こちらは広報誌2月号で周知させて頂いた。地域公共交通計画のパブリックコメント実施の予告については、広報誌1月号に掲載したところであるが、分かりづらい部分があったと思われるので、意見を求める具体的な内容がより分かりやすいものになるよう努めていく。

(田端委員)

同じ時期に案件が重なったため、市民の方が迷っていた。

(鈴木(俊)委員)

確認であるが本日の協議会は、協議会として計画の認定をするかどうかを決定するため開催したものと捉えて良いか。また、なとりん号の運行体系見直しについて現在進行形で住民説明会を開催しているが、その内容を協議会で確認し、計画へ反映させなくても良いのか。

(事務局)

なとりん号の運行体系見直し内容の大枠について、計画書冊子 P.52～54「施策1・事業1-1 幹線路線・デマンド交通での分担によるネットワーク再編」に掲載しているところであり、詳細については令和5年度に実施する実証実験で固まっていくものである。

まずは、なとりん号運行体系見直しについて大枠として本計画をお認めいただき、詳細な内容については今後計画のPDCAサイクルによる進行管理を行っていく際に追記等ができればと考えている。

また、本日の協議会開催の目的については、委員お見込みのとおりである。

(鈴木(俊)委員)

資料4で、パブリックコメントによって寄せられた市民の声が示されているが、なとりん号の運行体系・デマンド交通に関する市民の関心が高いことが伺える。

現在実施している住民説明会の内容を協議会に諮らずに計画を申請したという経過が残るのはいかがかと思う。住民説明会の内容を一度、協議会メンバーに展開してから計画の認定申請することは困難か。

(事務局)

なとりん号の運行体系見直しの住民説明会は2月17日(金)まで実施している。その内容について防災安全課で取りまとめるようになるが、どのような意見が市民の皆様から出されたか委員の皆様と共有することについては、ご意見として受け止めさせていただく。

計画については、なとりん号の運行見直しの大枠を掲載していることから本日お認め頂ければと考えている。

(鈴木(俊)委員)

今年度中に策定ということで事務局も大変苦労があったと思われるが、本協議会は事務局案を承認するかどうかといった場ではなく、協議を行う場であるため、十分な議論が行えるよう資料の事前送付をお願いしたい。

(事務局)

今後、委員の皆様から活発なご意見を頂戴できるよう改善していきたい。

(小島委員)

国に計画の認定申請を行った後も、市民の声や要望を踏まえ計画の修正を行っていくと認識して良いか。

(事務局)

委員お見込みのとおりであり、計画策定後に変更事項・修正事項があれば国に改訂版を改めて送付するようになる。

(我妻会長)

事務局においては、今後資料の事前送付等の工夫・改善をお願いできればと思う。現状はなとりん号の見直しのための実証実験と並行しながら本計画の策定が進んでいるため、計画策定となとりん号の見直しのスケジュールが混在してしまっているが、本計画は大きな方針として捉えていただきたい。

(田端委員)

デマンド交通の運行体系がどうなるのかといったことや、本計画は81ページにわたる膨大な内容であることから、市民に手に取ってもらいやすくするため内容をコンパクトにまとめた概要版を作成し、配布することも良いのではないか。

(事務局)

令和5年1月12日に開催した議員協議会の際にも、概要版を作成し説明を行ったところである。市民の目に触れるかたちとして提示していくことで対応したい。

また、デマンドのルート変更等は防災安全課で所管しているため、意見を共有して、対応を検討する。

(田端委員)

名取市の公共交通が変わっていくということを市のHPや公民館等で分かるように情報発信していただければと思う。

(事務局)

承知した。

※本協議会として、事務局の計画書(最終案)を認める。

7. その他

(吉本委員)

本日の出席名簿と本協議会の設置要綱について配布願う。

(事務局)

承知した。

(鈴木(俊)委員)

次年度の本協議会の予定について。

(事務局)

次年度も PDCA サイクルによる計画の進行管理を行うため、現在の構成員で継続して、本協議会を実施できればと考えている。年度中間での開催を目安としているが、開催回数はおおむね 2～3 回を想定している。

(佐々木委員)

計画書冊子 P.7 において、「ゼロカーボンシティ」宣言のことを言及されているが、達成に向けたロードマップのようなものはあるのか。

(大久保委員)

今年度は、再生可能エネルギーの調査・計画編を作成しており、概ね完成しつつあることから、近々公開予定である。次年度に実効性のある実施計画編を策定する予定としている。

令和 5年 2月 21日

会長 我妻 諭

名取市地域公共交通活性化推進協議会委員 名簿

	職 名	所 属 等	氏 名
1	委 員	名取市 副市長	我妻 諭
2	委 員	名取市 副市長	門脇 雅之
3	委 員	名取市 総務部長	桜井 淳一
4	委 員	名取市 企画部長 (※欠席)	小平 英俊
5	委 員	名取市 健康福祉部長 (※欠席)	小畑 和弥
6	委 員	名取市 生活経済部長	大久保 啓二
7	委 員	宮城交通(株) 営業部次長兼計画課長	鈴木 俊介
8	委 員	(株)ミヤコーバス 執行役員 南部地区支配人	高瀬 孝一
9	委 員	株式会社桜交通 所長 (※欠席)	小室 健一
10	委 員	仙南交通株式会社 代表取締役	木村 豊彦
11	委 員	(有)増田タクシー 常務取締役	桃野 博行
12	委 員	名取交通(株) 安全統括管理者	菅原 幸一
13	委 員	(株)なとり川交通 代表取締役	川内 由信
14	委 員	東日本旅客鉄道(株)仙台支社総務部企画室 担当課長	箸方 稔
15	委 員	仙台空港鉄道株式会社 代表取締役専務	山内 伸介
16	委 員	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所岩沼国道維持出張所 所長	鈴木 裕志
17	委 員	宮城県仙台土木事務所 道路部長 (※欠席)	荒井 道顕
18	委 員	名取市 建設部長	村上 諭
19	委 員	名取市区長連絡協議会 会長	高橋 久夫
20	委 員	名取市老人クラブ連合会会長	田端 幸男
21	委 員	名取市地域婦人団体連絡協議会 副会長	太田 裕子
22	委 員	名取市身体障害者福祉協会 監事	鹿又 静子
23	委 員	宮城大学 教授	徳永 幸之
24	委 員	岩沼警察署 交通課長 (※欠席)	鈴木 秀悦
25	委 員	東北運輸局宮城運輸支局 主席運輸企画専門官	木内 俊典

26	委員	宮城県企画部地域交通政策課 副参事兼総括課長補佐(※欠席)	長谷部 宗俊
27	委員	宮城県交通運輸産業労働組合協議会 事務局長	吉本 淳
28	委員	仙台市都市整備局総合交通政策部公共交通推進課課長(※欠席)	五十嵐 大
29	委員	名取市商工会 会長	小島 哲夫
30	委員	名取市観光物産協会 会長	佐々木 洋

職名	所属	氏名
事務局	企画部政策企画課長	山家 ちとせ
事務局	企画部政策企画課長補佐	朽木 康裕
事務局	企画部政策企画課政策係長	草野 学
事務局	企画部政策企画課政策係主査	行形 洋明